令和3年度実施 2学期制に関するアンケート調査結果「概要版]

佐野市教育委員会

1 調査の目的

佐野市立学校で平成17(2005)年から導入し令和3(2022)年度で17年目を迎えた 2学期制の現時点での成果と課題を把握し、今後、2学期制をより良い方向に進めていく上での 参考資料とする。

2 調査方法等

- (1)対象・保護者
 - ・教職員
 - (①管理職②教諭・講師等③養護教員④栄養教諭⑤事務職員)
- (2)方法 Web アンケート(一部は紙面による調査)
- (3) Web アンケート期間 令和4年1月14日(金)~1月21日(金)

3 結果概要

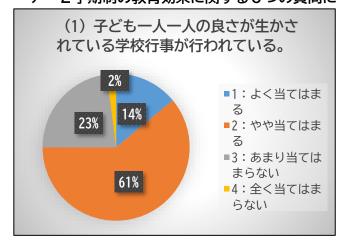
- ・回答保護者数 5235人 (小学校・義務教育学校前期課程 3466人 中学校・義務教育学校後期課程 1769人)
- ·回答教職員数 567人

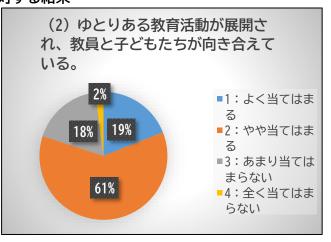
(1) 保護者アンケートの結果概要

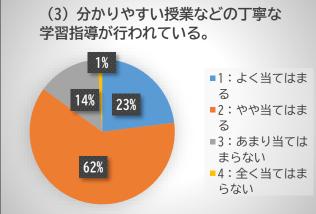
- ○2学期制の教育効果に関する6つの質問項目において、肯定的回答「よく・やや当てはまる」が70%を上回り、多くの保護者が概ね2学期制の教育効果を感じていることがうかがえる。中でも、「(3)分かりやすい授業などの丁寧な学習指導が行われている。」「(5)夏休み等の長期休業時に、学校から学習状況や生活の様子について説明を受けている。」は肯定的回答が85%と高い数値を示した。
- ○2学期制全体に関する2つの質問項目においては、肯定的回答が60%台半ばとなり、半数近 くの保護者は概ね2学期制を肯定的に捉えていることがうかがえる。
- ▲しかしながら、全質問項目において否定的回答の割合が10~30%と一定数見られること、「よく当てはまる」と回答した割合が10~20%台と低い水準となっていることなど、課題として捉えるべき傾向を示しているものがあり、より多くの保護者が2学期制の良さを感じられるような改善向上を検討していけるとよい。

◇小・義前期及び中・義後期の保護者5235人の回答結果を円グラフで示すと次のとおりである。

ア 2学期制の教育効果に関する6つの質問に対する結果

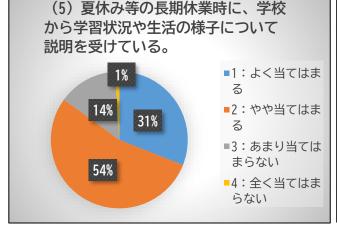






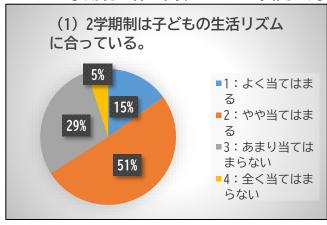


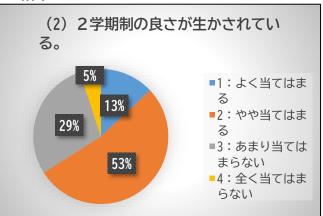






2学期制全体に関する2つの質問に対する結果





(2) 教職員アンケート調査の結果概要

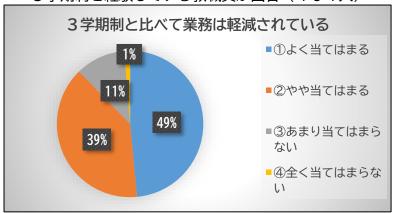
- ○業務軽減に関する質問項目では、3学期制を経験した教職員464人の内、肯定的回答「よく・ やや当てはまる」が約90%を示し、多くの教職員が2学期制は3学期制よりも業務軽減に繋 がっていると感じていることがうかがえる。
- ○学習指導に関する全ての質問項目について、肯定的回答「よく・やや当てはまる」が60%以 上を示し、2学期制が学習指導等にも効果的であると感じていることがうかがえる。

【自由記述について】

- ○自由記述では、教職員116人から意見が出され、約60%が「2学期制の継続を求める意見」 であった。約20%が「2学期制の課題や改善点について」、約9%が「3学期制の方がよい」 等であった。
- ▲2学期制の課題、改善点としては「子どもたちの気持ちの切り替えのための秋休みの必要性」 「行事の開催時期の工夫の必要性」等が出された。また、3学期制の良さとして「成績評価等 を子どもたちの学習に生かすには3学期制がよい。」等の意見が出された。

◇教職員の回答結果を円グラフで示すと次のとおりである。

・3学期制を経験している教職員が回答(464人)



イ 学習指導等について

・①管理職②教諭・講師等が回答

